

直播管理情報(乾田直播)

令和4年5月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

管内の乾田直播は、4月20日頃から播種が始まりました。播種の早いほ場では、5月10日頃から出芽が確認され始めており、5月上旬に播種されたほ場でも順調に出芽が確認されています。今後は的確な水管理や雑草防除に努め、苗立ちを確保しましょう。



4/20播種ほ場の状況

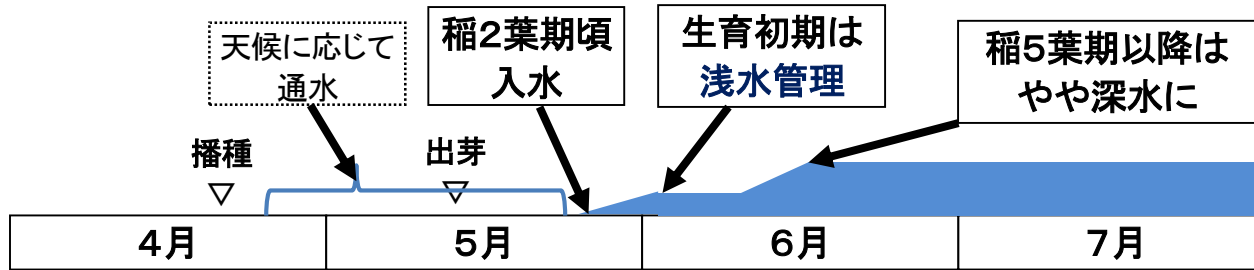


播種20日後(5/10)

1. 播種後の水管理

- 排水不良条件では苗立率が低下するため、**本葉が2枚出るまでは、ほ場内に水たまりができないよう排水対策を徹底**しましょう。
- 播種後、**無降雨日が続いた場合は通水処理（1～2日程度の浅水管理後に強制落水）**を行って、出芽を促進しましょう。
- 本葉2葉期になったら、遅れないように入水し湛水**しましょう。
 - ・出芽している個体のうち**2枚目の葉が展開しているものが半数を超えたら入水**します。
 - ・**必ずほ場全体の出芽状況を確認してから入水**しましょう。
 - ・入水が遅れると、**稲の生育が遅れるとともに雑草の繁茂**につながります。
- 入水後は、**抑草効果と肥効を持続させるため、収穫間際までしっかりと湛水管理**を行いましょ。
 - ・生育初期は浅水管理とし、草丈の徒長に注意してください。
 - ・乾田直播の場合は、田面が固くなっているため、中干しを行う必要はありません。

【播種後の水管理のイメージ】 ※4月下旬播種の場合



※田干しは田が湧いたり、藻が多発した場合等のみ実施する。

2. 入水前後の雑草防除

～雑草の発生状況を確認し、除草剤を適期に散布！～

【入水前後の雑草防除】

入水直前(イネ1.5葉期頃)
発生している雑草の種類に応じて液剤を散布
(クリンチャーバスME液剤、クリンチャーEW等)

4～5日程度

(イネ2葉期頃)
入水

1週間程度

湛水状態が安定してから
体系是正剤

【除草剤の使用例】

散布時期		除草剤名	散布量(10a 当たり)	備考
入水直前	ヒエ・広葉	クリンチャーバスME液剤	薬剤1000 ml 希釈水量70～100ℓ	播種後10日～ノビエ5葉期まで散布後3～4日間は入水しない
		トドメバスMF液剤	薬剤1000ml 希釈水量100ℓ	播種後10日～ノビエ6葉期まで散布後3～4日間は入水しない
	ヒエのみ	クリンチャーEW	薬剤100 ml 希釈水量25～100 ℓ	播種後10日～ノビエ5葉期まで展着剤を加用する
入水後 1週間程度 (雑草の発生状況に応じて)		エンペラー1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期
		アピログロウMX1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期
		アールタイプ1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期～ノビエ2.0葉期
		サンパンチ1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ノビエ3葉期まで
		ウィードコア1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期～ノビエ4葉期まで

ヒエの生育は稲より速い！



1葉期の稲の隣に3.8葉のヒエ

- ヒエなどの雑草は稲より生育が速いため**、気が付かないうちに葉齢が進んでいます。**入水前の液剤は遅れないよう**、天候のよい時に丁寧に散布しましょう。特に、**出芽前の非選択性除草剤が散布できなかったほ場**は、雑草の発生状況を確認し、**早めに液剤を散布**しましょう。
- クリンチャーバス等の液剤は残効性がないため、かかった草にしか効果がありません。入水後の除草剤は確実に散布して下さい。(入水後、減水が少なくなり湛水状態が安定してから散布しましょう。)
- 入水後の除草剤は、「直播水稻」で登録のある剤を使い、決められた使用回数等、使用基準を遵守しましょう。

農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！